

PCR検査とは？ B型、C型肝炎ウイルスもPCR検査で検出

肝臓川柳

無くしたい コロナも肝炎も ピッサリと！

(ピッサリ…ピッサーリ…ピーシーアーリ…ピーシーアール…PCR)

新型コロナ感染症が猛威を振るい、ニュースの大半を占めていますが、
その中でよく“PCR検査”の話題が出てきます……

「PCR (polymerase chain reaction)」とは！？

日本語で「ポリメラーゼ連鎖反応」……といっても何か分かりにくいですが、
ごく少量のDNA（遺伝子）を大量に複製する（増やす）手法のことです。

ウイルスの存在を診断するとき、

ウイルスのごく微量のDNA（遺伝子）を増やしてから測定するのですが、

特殊な技術がいり、衛生研究所や設備のある大学、民間検査会社などで行っています。

新型コロナウイルスは咽頭や鼻咽頭からのぬぐい液、

B型肝炎、C型肝炎は血液を採取し検査します。

新型コロナウイルス感染症の診断は現在のところPCR検査のみであり、

感染蔓延阻止のために検査の推進が望まれます。

<少し詳しく>

B型肝炎ウイルスは、DNAウイルスでありDNAを増幅するPCR検査で行いますが、

C型肝炎ウイルスは、RNAウイルスでありRNAを逆転写 (Reverse transcription (RT)) し

cDNAに変換してから増幅するRT-PCR検査で行います。

新型コロナウイルスもRNAウイルスであり、正確にはRT-PCR検査です。



これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

肝炎ウイルスもPCR検査を実施しますが、B型肝炎ウイルスはDNA検査であり、
C型肝炎ウイルスはRNAウイルスです。新型コロナウイルスもRNAウイルスです。
新型コロナウイルスのPCR検査は、咽頭や鼻腔のぬぐい液で検査するのに対して、
肝炎ウイルスは血液を採取して検査します。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター長 野ツ俣 和夫)